

# 佐々町 新庁舎特集号

第1号

発行：佐々町役場 総務課



## 「新庁舎特集号」発行にあたって

佐々町では、昨年度に新庁舎建設の検討を本格的にスタートさせ、新庁舎の整備位置、規模や機能などをまとめた「**佐々町庁舎建設基本構想・基本計画**」を策定しました。

そして、現在、**庁舎建設工事基本設計・実施設計業務の発注**に向けて準備を行っています。

これまでも、広報紙やホームページなどでお知らせしていましたが、庁舎の建設にあたっては、町民の皆さんのご理解が必要ですので、今後は「**新庁舎特集号**」として、隨時、状況をお知らせする予定です。

また、情報を発信するとともに、町民の皆さんの意見を聴取する機会（ワークショップやパブリックコメントなど）を実施する予定ですので、ご協力をお願いします。

なお、設計業者選定のため、9月11日（金）に地域交流センターで行われる予定の  
**プレゼンテーションを公開**しますので、ぜひご参加ください。

※詳細は後日案内いたします。

Q1. なぜ、いま、庁舎の整備が必要なの？

現庁舎は、昭和44年3月に建設され、供用開始後約50年を経過し、老朽化など様々な問題に直面しています。加えて、現庁舎は、耐震性能も不足していて、震度6以上の地震が発生した際は、倒壊する可能性が高いと診断を受けています。

東日本大震災、熊本地震などの大地震の発生に加え、近年では、豪雨や台風による大規模な自然災害も多く発生していることからも、災害時行政サービスが継続できるよう防災拠点としての庁舎の早期整備が必要な状況となっています。

## Q2. なぜ、建て替えなの？

建て替えの場合、多額の費用が必要となるため、耐震化のための補強工事などの大規模改修で対処する方法もあります。

しかし、一時的な延命措置であって、施設・設備の老朽化は進み、防災拠点としての現庁舎の問題（課題）を解決するためには、近い将来において建て替えが必要となります。また、補強のための柱などによって、庁舎内を狭くしてしまうなどの弊害もあります。

なお、令和2年度までに実施設計に着手し、建て替えた場合、**地方債（住宅ローンのようなもの）の活用**が可能となり、**地方交付税措置（国からの助成）**が受けられる予定のため、財政負担の分散化・軽減が図れます。

Q3. 建て替えるにはどのくらい費用がかかるの？

現時点での概算事業費は、建設工事費、設計などの委託費、備品購入費、移転費なども含めて、総額で **25 億円** となっています。

なお、地方債を活用した場合、**4 億円**程度の地方交付税措置（国からの助成）が受けられる予定です。

#### Q4. 新しい庁舎はいつ頃建つの？

現時点では**令和6年**に完成、供用開始を目指しています。

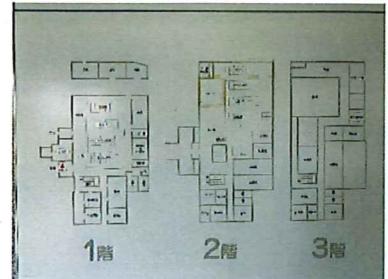
なお、全体のスケジュールは下表のとおりです。

## Q5. 現庁舎には具体的にどのような問題（課題）があるの？

町民アンケートなどの結果から、下記のような問題（課題）があがっています。

### ①町民に対する利便性

- ・行きたい部署がどこにあるかわかりにくい。
- ・窓口又はフロアが1箇所にまとまっている。
- ・キッズコーナー・授乳室などの場所が確保されていない。
- ・出入口やトイレがわかりづらい、暗い。



① [ わかりづらい総合案内図 ]

### ②町民の安全・安心の確保

- ・防災拠点として必要な機能を備えた災害に強い庁舎とは言えない。
- ・耐震診断基準を満たしていないため、現庁舎は倒壊する可能性が高い。



② [ 過去に発生した大雨被害 ]

### ③施設・設備の老朽化

- ・建物全体に加え、給排水や空調、設備なども老朽化が進んでいる。
- ・庁舎本館と役場別館をつなぐ渡り廊下が老朽化している。



③ [ 外壁の老朽化部分 ]

### ④現庁舎の狭あい化

- ・町民が利用する窓口スペースや会議室などが狭い。
- ・文書などの保管スペースが不足している。
- ・行事やイベントの際に駐車場が利用しにくい。



④ [ 狹い事務スペース ]

### ⑤バリアフリーへの対応

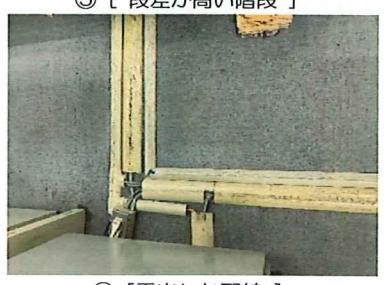
- ・階段の段差が高いなど、バリアフリーが行き届いていない。
- ・窓口やトイレなどの標示サインがわかりづらく、利用しにくい。



⑤ [ 段差が高い階段 ]

### ⑥高度情報化への対応

- ・建物自体がICT化に対応できる構造ではない。
- ・災害時にすべての業務に影響する恐れがあり、危機対策にも不安が残っている。



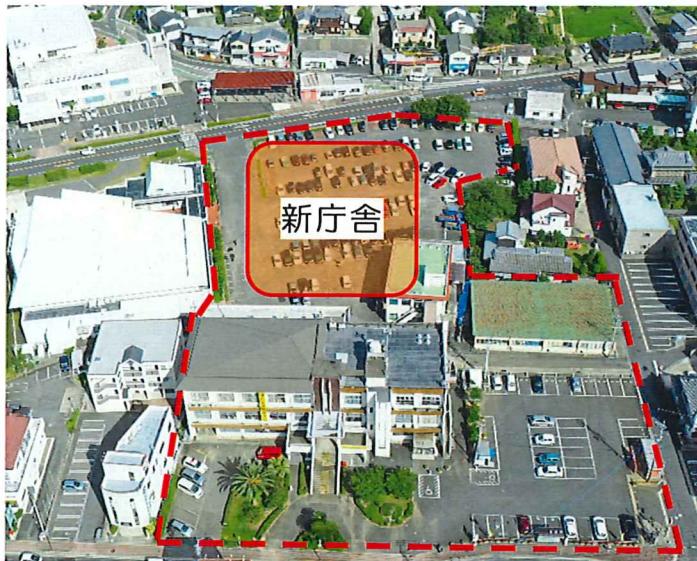
⑥ [ 露出した配線 ]

## Q6. 新しい庁舎はどこに建つの？

町民アンケートの内容なども含めた、佐々幼稚園跡地などの他の候補地との比較の結果、  
**役場周辺エリア（現在の文化会館前の駐車場）**に建設を予定しています。

【敷地条件】 所在地：佐々町本田原免 168-2

- ・敷地面積：約 9,800 m<sup>2</sup>
- ・海抜：4.4m
- ・用途地域：無指定
- ・建ぺい率：70%
- ・容積率：300
- ・前面道路：13.4m、10.9m

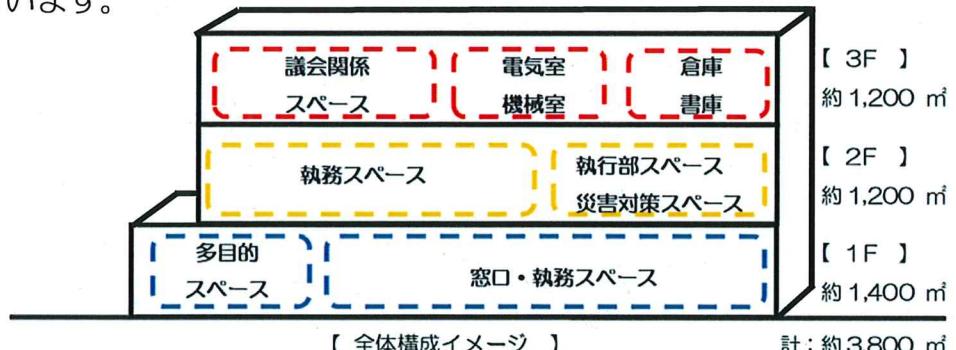


評価基準	評価項目	評価
1.町民の利便性	①都市機能の集積・にぎわい	◎
	②交通アクセス	◎
	③駐車場サービス	○
2.計画の経済性と実現性	①用地	◎
	②計画・工期（実効性）	○
	③概算事業費（コスト）	○
3.防災拠点・安全性	①地震・津波	○
	②浸水	△
	③防災拠点性	○
4.まちづくりとの整合性	①上位計画との整合性	◎
	②他公共施設関連	○
	③防災拠点性	○
5.その他	①アンケート調査より	○

## Q7. 新しい庁舎はどのくらいの規模なの？

現時点では、大きさとしては延床面積が**約 3,800 m<sup>2</sup>**で、3階建ての想定（下記イメージ）となっていますが、最終的には設計段階で決定されます。

なお、現庁舎（3階建て）の延床面積は、別館部分（2階建て）も合わせて、  
3,220.59 m<sup>2</sup>となっています。



お問い合わせ

佐々町役場 総務課 総務班  
電話：62-2101 FAX：62-3178

新庁舎は、これから将来、長い期間に亘り、町のシンボルという役割を担うことになります。町民の皆様の庁舎として、より親しみを持っていただけるよう、できる限り皆様の声を反映させたいと考えておりますので、ご意見などあられましたらご気軽にご連絡ください。